

独立混成第八十一旅団通信隊略歴

年 月 日	概 要
昭二九、二、一	第一旅団通信隊編成下令
二、三五	編成業務着手
三、六	滿州國奉天省鉄嶺にて第一旅団通信隊編成完結
三、二一	中國派遣のため奉天省鉄嶺出発
三、二三	過中國境山海關通過
三、二五	南京着
四、一三	第一旅団通信隊を三分れ第一旅団通信班を編成し第一野戰補充隊増員とし て第一野戰補充隊に転属
四、一七八	湘桂作戦に参加（湘潭附近の警備）
四、二〇	昭和二十一年軍令陸甲第十八号に拵り第一野戰補充隊復帰並に獨立混成第八十一 旅団通信隊臨時編成下令
四、二一	復員並に編成業務着手
四、二二	湖南省湘潭に於て第一野戰補充隊復帰並に獨立混成第八十一旅団通信隊臨時編 成完結
四、二三	湘桂作戦に参加（湘潭附近の警備）
四、二四	主力部隊復員のため湖南省湘潭出発

(435)

0945

年	月	日	概	要
昭二十六	一四		主力部隊上海到着	
六	三五		上海港出發	
七	二六		佐世保港上陸	

(436)

0946

独立混成第八十二旅団司令部略歴

陸軍少將 横 庭 子 郎

年  
月  
日

概

要

昭和二〇年三月一

昭和二〇年單令陸甲第十八号に依り臨時編成下令第ニ野戦補充隊長陸軍少將横山臣平編成主任官となりて第ニ野戦補充隊本部を基幹とし部隊内各隊より九十名の人員を充足し編成当時百九十三名の人員を以て中華民国湖南省湘潭県株州に於て昭和二〇、三、一〇 編成を完結す

但し編成定員は三百十名にして編成当時百十七名の不足人員を主とあり

中華民国湖南省湘潭県株州に於て編成完結

編成地に在りて湘西地に参加  
編成地に在りて湘西反撃作戦に参加

復員下今

停戦協定締結す

新牆に集結の為株州出發

湖南省岳陽県新牆着

新牆に在りて中國軍協力作業復員業務に着手  
内地帰還の為新牆出發

上海着

年 月 日	概	要
昭和二〇年三月一	昭和二〇年單令陸甲第十八号に依り臨時編成下令第ニ野戦補充隊長陸軍少將横山臣平編成主任官となりて第ニ野戦補充隊本部を基幹とし部隊内各隊より九十名の人員を充足し編成当時百九十三名の人員を以て中華民国湖南省湘潭県株州に於て昭和二〇、三、一〇 編成を完結す	
	但し編成定員は三百十名にして編成当時百十七名の不足人員を主とあり	
	中華民国湖南省湘潭県株州に於て編成完結	
	編成地に在りて湘西地に参加 編成地に在りて湘西反撃作戦に参加	
	復員下今	
	停戦協定締結す	
	新牆に集結の為株州出發	
	湖南省岳陽県新牆着	
	新牆に在りて中國軍協力作業復員業務に着手 内地帰還の為新牆出發	
	上海着	

(終)

0947

年	月	日	概
昭三十一年	五月	八日	
六、二三	六、二七	上海港出帆 博多港上陸 復員完結	
			要

(663)

0948

独立混成第八十二旅団司令部の一部略歴

一部隊は五月八日上海に於て主力と分離、金山大尉輸送指揮官となり先発帰還を命ぜられ同

日特別輸送船「萩」に乗船同日上海出帆

昭和二十一年五月十四日鹿児島上陸 同日除隊召集解除

全 年五月十大日鹿児島発復員列車で帰還す

上海出発以未事故者なし

入員 金山大尉以下將校一〇 下士官五二 兵一〇 計一七二

五月十七日 高橋大尉及中植隊長の両名残焉整理の為ニ日市中國派遣軍復員本部に至り同  
日業務終了す

尚復員本部要員としてニ日市に来れる赤沢武晴中尉・山田尋義伍長の両名任務を解かれ同  
日帰還す

(439)

0949

独立歩兵第四八九大隊略歴

年月日	概要
昭二〇二二一 三、一	軍令陸甲第十八号に依り独立歩兵第四八九大隊編成下令 編成業務着手
二、四 二、八	中華民国湖南省湘潭県株州に於て編成完結 中華民国湘潭県株州に移駐
三、五 三、八	中華民国湖南省岳陽県新牆に移駐
仙崎港上陸除隊召東解除す 七、二 七、二	一部帰還のため指揮官奥村大尉以下八三九名上海港出帆 上海港出帆（主力部隊内帰還のため 浦賀港上陸
浦賀に於て復興式挙行 七、一四	

(440)

0950

独立歩兵第四百九十大隊略歴

陸軍中佐 松田長成

一 前歴

部隊名 第二野戦補充隊第三大隊

編成地 富山県富山市歩兵第六十九連隊補充隊

編成完結日 昭和一九、三、一六

出港出帆 昭一九、三、二二

青島港上陸 昭一九、三、二十四

作戦及行動

自元、五、二  
至九、三、二

湘桂作戦に参加

自九、三、二  
至九、三、二

南部粵漢作戦に参加

二 部隊略歴

部隊名 第二十軍独立混成第十三旅団独立歩兵第四百九十大隊

編成地 湖南省湘潭県朱亭

編成完結日 昭二〇、三、一〇

作戦及行動

自元、三、一  
至元、三、一〇

湘西作戦に参加

自元、三、一  
至元、三、一〇

湘西反撃作戦に参加

(444)

0951

終戦後行動

昭二〇

九、

朱寧出発

岳陽渠新橋到着

一〇

八、

新橋出発

岳州集結

一一

四、

岳州出發

上海集結

一〇

四、

岳州集結

一〇

四、

岳州集結

一一

三、

上海集結

復員完結

外九月十五日

長野原北安吉事務所用合算

(442)

0952

独立混成第八十二旅団

独立歩兵第十四百九十一一大隊（至烈第一七八三四部隊）略歴

西行  
宮沢源一

年月日	要
昭二〇、三、一	編成完結
昭二〇、三、二	湘西作戦に参加
昭二〇、三、三	普口市附近の戦斗に參加
昭二〇、三、四	醴陵附近の警備並に掃蕩に從事
昭二〇、三、五	湘西反転作戦に参加
昭二〇、三、六	湖南省醴陵県醴陵出發
昭二〇、三、七	湖南省株式會
昭二〇、三、八	湖南省岳陽県新牆着
昭二〇、三、九	内地帰還のため湖南省岳陽県新牆出發
昭二〇、三、一〇	上海着
昭二〇、三、一一	仙崎港上陸
昭二〇、三、一二	内地帰還のため上海港出帆

(443)

0953

独立混成第八十二旅団独立歩第十四百九十三大隊略歴

陸軍大尉 尾 中 康 一

年	月	日	概要
昭二〇	二	一	軍令陸甲第十八号に依り臨時編成下令
至	自		第二野戦補充隊第四大隊の人員を基幹として独立歩第十四百九十三大隊編成に着手
三〇	三	一〇	編成完結
二九	二	一〇	湘西作戦參加湖南省湘潭県淶口湖南省醴陵県三門、昭陵、平山塘附近の警備並掃蕩
二八	一	一〇	湘西反転作戦に參加前任務遂行
二七	一	一〇	停戦詔書発令
二六	一	一〇	復員下令
二五	一	一〇	停戦協定締結
二四	一	一〇	駐屯地出發
二三	一	一〇	湖南省岳陽県新増到着
二二	一	一〇	内地帰のため新増出發
二一	一	一〇	湖南省岳陽県新増到着
二〇	一	一〇	鉄道輸送に依り漢口、鄭州、徐州、南京を経て上海到着
一九	一	一〇	部隊の一部（陸軍大尉木川克巳以下七八三名）上海出帆
一八	一	一〇	五、八

(\*\*\*\*)

0954

五、五  
五、六  
六、七

仙崎港上陸復員式完了  
部隊の主力（大隊長陸軍大尉尾中康一以下一九七名）上海出帆  
博多港上陸復員式完了

(4445)

0955

独立混成第八十二旅団独立歩兵第4百九十三大隊略歴

陸軍大尉 松田 隆直

年月日

概

要

昭二〇二一  
三一〇

昭二〇年軍令陸甲第一八号に依り臨時編成下令

編成完結

湖南省湘潭県株州附近の警備並に掃討

湘西反転作戦參加

湘西作戦參加

復員下令

湖南省湘潭県株州出發

湖南省岳陽県新場到着

湖南省岳陽県新場附近聚留

内地帰還のため新場出發

浙江省上海出帆

仙崎港上陸

自二〇  
五・五  
一・八  
五・八  
四・八  
四・六  
四・四  
四・三  
一・天

至二〇  
五・五  
一・八  
五・八  
四・八  
四・六  
四・四  
四・三  
一・天

至二〇  
五・五  
一・八  
五・八  
四・八  
四・六  
四・四  
四・三  
一・天

至二〇  
五・五  
一・八  
五・八  
四・八  
四・六  
四・四  
四・三  
一・天

至二〇  
五・五  
一・八  
五・八  
四・八  
四・六  
四・四  
四・三  
一・天

(446)

0956

独立混成第八十二旅团砲兵隊略歴

		前歴		年月日	概要	要
至	自	至	自			
昭二〇	一九三〇	昭二〇	一九三〇	昭二九 三一六	部隊名 第二野戦補充隊砲兵隊	
二一	四七	二〇	一九三〇	編成地 石川県金沢市山砲兵第十六連隊補充隊		
二二	四八	二〇	一九三〇	編成完結		
二三	四九	二〇	一九三〇	門司港出帆		
二四	五〇	二〇	一九三〇	青島港上陸		
二五	五一	二〇	一九三〇	湘桂作戦に参加		
二六	五二	二〇	一九三〇	南部粵漢打通作戦に参加		
二七	五三	二〇	一九三〇	独立混成第八十二旅団砲兵隊		
二八	五四	二〇	一九三〇	湘西反転作戦に参加		
二九	五六	二〇	一九三〇	中華民国湖北省蒲圻県趙字橋にて編成		
二一	五七	二〇	一九三〇	編成完結		
二二	五八	二〇	一九三〇	湘州出発		
二三	五九	二〇	一九三〇	湖南省岳陽県新墙着		
二四	六〇	二〇	一九三〇	新墙出発		

(827)

0957

年	月	日	概要
昭二一	四	八	岳州集結
	四	一四	岳州出發
	五	四	上海集結
五	五	八	上海港出帆
			佐世保港上陸

(448)

0958

独立混成第八十二旅团工兵队略歴

陸軍大尉 木下太郎

年月日 概要

昭二〇年三月一日至四月三日	昭二〇年四月四日至五月五日	昭二〇年五月六日至六月三日	昭二〇年六月四日至六月八日	昭二〇年六月九日至六月二十一日	昭二〇年六月二十二日至七月二日	昭二〇年七月三日至七月二日
勤員下令	編成完結（第二野戰補充隊工兵隊）	編成地金次出發	門司港出帆	青島港上陸	湘桂作戦第一期作戦參加	瀏陽に在りて同地附近の警備並に道路作業に從事
上海出帆	株州に在りて同地附近の警備並に掃蕩	独立混成第十三旅團工兵隊編成完結	湘西作戦に參加			
鹿児島港上陸						

(449)

0959

独立混成第十八十二旅团通信隊略歴

陸軍大尉 大辻喜一郎

年月日

(前略)

部隊名 第二野戦補充隊通信班

編成地点 满州国鉄嶺鎮(鉄嶺)

昭二九、二三五

班長 陸軍少尉 服部義夫

滿州国鉄嶺出發

南京着

部隊名 第二野戦補充隊通信隊

編成地点 鄂陽県金牛鎮

編成完結

隊長 陸軍中尉 服部義夫

湘桂作戦参加 上記向湖南省瀏陽県瀏陽附近の

作戦参加 打通

警備

部隊名 第二十軍独立混成第十八十二旅团通信隊

編成地点 湖南湖譯県株州

昭二〇、三一〇

編成完結

隊長 陸軍大尉 大辻 喜一郎

湘西作戦參加 上記向主として湖南省湘潭県株州附近に在りて

湘西反転作戦參加 (帰路並に警備

株州出發

岳陽渠新橋着

新橋出發

岳州着

岳州出發

漢口集結

漢口出發

上海集結

上海出帆

鹿児島港上陸

至自二〇、三一〇  
一六六六三一〇  
二五五五五  
三四四四四  
四三三三三  
五二二二二  
六一七八〇  
七〇八〇〇〇〇  
八〇〇〇〇〇〇  
九〇〇〇〇〇〇  
一〇〇〇〇〇〇

(251)

0961

独立混成第八十六旅団司令部

210

陸軍大佐 沅 利平

年月日

概

昭二〇(西暦)

昭和二〇年軍令陸甲第十八号独立混成第八十六旅団司令部編成下令

三二七

湖南省宝慶に在りて編成業務着手

四二〇

編成完結

至自二〇

旅団長以下將校十九名、准士官三六名、兵二二六名

六二〇

湖南省宝慶周辺地区に在りて湘西作戦に参加

七二七

湘南省湘鄉県永豐移駐

八二四

停戦詔書発布

八二五

復員下令

九二九

停戦協定締結

一二一

停戦東北の爲湖北省嘉魚着

一二二

陸軍少將 上野源吉 戰病死

一二三

旅團長事務取扱 陸軍大佐 沖 利平

一二四

内地帰還のため嘉魚出發

一二五

上海港出發

一二六

博多港に上陸

(252)

0962

内一九

七二四

大佐

内地召集解除

(453)

0963

独立歩兵混成第八大旅団独立歩兵第五百九大隊略歴

陸軍大尉 川 合 告 志

年 月 日

概

要

昭二〇 四七

昭和二〇軍令陸甲第一八号独立歩兵第五百九大隊編成下令

湖南省宝慶に於て編成業務着手

編成完結

部隊集結完了

大隊長以下將校三十六名 下士官一四四名 兵三九七名

湖南省宝慶周辺地区に在りて湘西作戦に参加

死没人員將校一名 下士官二名 歩九名

湖南省宝慶周辺地区警備

本土次要員將校六名 下士官十名転属のため出発

補充員 昭和十九年度現役兵到着

停戦詔書発布

昭和十九年度現役兵到着

復員下令

停戦協定締結

昭和十九年度現役兵到着

至自  
二二  
一〇一〇  
一四一四  
四五五三  
六七

湖北省嘉魚に巢結  
湖北省嘉魚に於て終戦後の内地帰還のため待機  
内地帰還のため出発  
上海港出帆  
博多上陸

(455)

(455)

(455)

0965

独立混成第八大旅団独立歩兵第五一〇大隊略歴

日	月	年	概要
一	三	昭二〇	軍令達甲第十八号独立歩兵第五一〇大隊編成下令 編成業務着手
三	四	二〇	中華民國湖南省邵陽県周官橋に於て編成完結
五	六	二〇	相面作戦に參加
七	八	二〇	(昭二〇)四三〇編成完結と同時に衡宝公路に沿ひ長達一二〇キロに亘る矢站線の確 保に任じ交通の通信棧橋の妨害を縱にせる敵を完封し其の任を全うせり
九	十	二一	二作戦終了後も引き続き園官橋附近に在りて警備に任じ敵をして一指を触れしめ ず鉄壁の陣を布けり
十一	十五	二一	永豐地区移駐の烏周官橋出発 へ四湖南省湘鄉県永豐に到着該地附近の警備に任 すると共に軍の戦闘收縮掩護の烏堅固なる陣地を構築す
十五	二七	二一	復員下令
二〇	二九	二一	帰還輸送の烏嘉魚港出帆
二二	三〇	二一	南京上陸
二三	三一	二一	上海集結

(256)

0966

六二

上海港出帆  
鹿児島上陸

(457)

0967

独立混成第八大旅団独立歩兵第五一一大隊略歴

年 月 日	概 要
昭二〇 四三〇 四、六	昭和二〇年軍令陸甲第一八号に基く独立歩兵第五一一大隊編成下令 大隊長任地到着 編成業務着手
五二〇 六、一	中華民国湖南省邵陽県宝慶に於て編成完結（昭二〇、四、三〇附） 宝慶周辺地区の警備
八一〇 六、九	湖南省湘陰県永豐に移駐完了 湖南省湘陰県永豐に移駐完了
一一五 六、一	永豊附近の警備
一一六 六、一	内地帰還の為漁魚出発 上海港出帆
一一七 六、一	博多に上陸

(458)

0968

独立歩兵第五一一大隊略歴

年	月	日	概要
昭二〇	三	五	軍令陸甲第十八号独立歩兵第五一一大隊編成下令
三一	四	八	編成業務着手
三二	五	二〇	湖南省邵陽渠橋木田に於て編成完結
三三	六	一	宝慶周辺地区の警備
三四	六	七	湘西作戦殘留警備勤務
三五	六	八	湖南省邵陽渠三塘沖集結
三六	六	九	湖南渠橋木田に於て編成完結
三七	七	一〇	内地帰還(復員)の為上海港出帆
			鹿児島港上陸
			上海集結
			復員完結召集解除

(454)

0969

独立歩兵第五一三大隊略歴

陸軍大尉 北田入志

年月日

概

要

昭二〇 四二〇	三、五 四、三	自至自至自至自至自至	軍令第十八号に依り編成下令 編成のため中華民国湖南省邵鄉渠水樹坪に巢結 中華民国邵鄉渠永豐に於て編成完結
六七	五、一〇 五、一七 五、一九 五、二〇	湖南省邵鄉渠水樹坪附近の警備 湖南省邵鄉渠永豐附近の警備 湖南省邵鄉渠永豐附近の警備 集結の爲め水豊出發	兵力 大隊長以下八九七名
鹿児島港上陸	湖北省嘉魚縣嘉魚到着	内地帰還の爲め嘉魚出發	
上海出發	南京到着	五、二二上海到着	

(460)

0970

独立混成第八十六旅団砲兵隊（秋霜第（セハセ）七八六七部隊）略歴

陸軍大尉 大和田 廉平

年月日

昭二〇三二〇

四二〇

四三〇

概要	要
軍令陸甲第十八号に依り編成下令	
於中華民國湖南省邵陽県宝慶返編成完結	
編成完結	
宝慶周辺地区並湘鄉県水豐附近警備	
停戦詔書發布	
復員下令	
内地帰還のため嘉魚出帆	
中華民國江蘇省上海出帆	
鹿児島県鹿児島上陸	
除隊召集解除	

(461)

0971

独立混成第八大旅団工兵隊略歴

年	月	日	要
昭二〇	一	一	軍令陸甲第十八号独立混成第八大旅団工兵隊編成下令
三二〇			工兵第百十六聯隊本部（中華民國湖南省邵陽県馬鞍山）に於て編成業務着手
四二〇			中華民國湖南省邵陽県榮旗坡に於て編成完結
至二〇	四	二〇	湘西作戦に參加
自二〇	六	二〇	編成完結と共に宝慶地区の警備を継承し前線部隊に対する後方確保補給業務を
五二〇	七	二二	担任す
五一	八	二三	宝慶周辺地区の警備
六一	九	二三	中華民國湖南省湘鄉県永豐に移駐
五一	一〇	二三	爾後水豊附近警備に任す
三一	一一	二三	内地帰還のため嘉魚出発
五	一二	二三	上海港出帆
大	一二	二三	佐世保港上陸
五	一二	二三	復員完結

(462)

0972

独立混成第八十六旅團通信隊略歷

年	月	日	概要
昭二〇	三	五	軍令陸甲第十八号独立混成第八十六旅團通信隊編成下令
	三	二	編成業務着手
四	三	〇	中華民國湖南省邵陽渠寶慶編成完結
八	三	一	中華民國湖南省湘鄉縣洪山殿転進（移駐）
一〇	三	一	中華民國湖北省嘉魚縣魚嶺鎮移駐
一一	六	大	佐世保にて復員人員

(463)

0973

独立混成第八十七旅団司令部昭歴

代理 陸軍少將 小山義己

年月日

概要

昭二〇、四、二〇

軍令陸甲十八号に依り独立混成第八十七旅団司令部の編成を下命せられ

四、二〇

編成完結

二〇、三、二九

旅団長小山少將着任

三、三〇

編成業務着手

四、二〇

湖南省衡陽に於て編成完結

五、二〇

旅団長陸軍少將小山義己以下將校一八、下士官三〇、兵二三四 計二七二

中華民国湖南省郴県に移駐六月一日より概ね耒陽以南湖南廣東省境迄の南部粵漢鉄道及衡宜軍公路の警備並に飛行場及重要軍需資源の確保に任すへ旅団警備

地域高亭司、永興、東江、三都場梅山、白石渡、宣章附近)

八、十五

郴県に於て停戦命令受領、八月十九日より逐次隸下部隊を郴県附近に集結す

湖南省郴県出発郴県—耒陽—長沙—汨—長安—浦折—大冶—陽新—九江

八、二五  
九、一四

江西省九江附近に全旅団を集結す

九江沼飛行場に於て兵器、馬匹の譲渡完了す

一〇、二一  
一〇、二二

江西省都昌県に到着同地駐留後更に準備す

一一、五一

江西省都昌県に於て後員の爲の帰還命令受領

(285)

0974

	要
機	
昭三一五、六	江西省鄱陽県駐留地出港鄱陽—湖口—南京—上海
五、三〇	江蘇省上海に到着同日上海ガ一矢站勤務隊に宿泊
六、一六	上海に於て LST 39 号に乗船一七〇〇出帆
六、一九	コレラ検疫の為佐世保港に入港
六、二七	コレラ検疫同月二八日検疫完了
六、二八	上陸地仙崎に向け一七〇〇佐世保港出港
六、二九	〇八〇〇仙崎入港一〇〇〇上陸
ノ ト 記 述	
旅団長小山少將（副官西川大尉随行）は六月一日中國側の命令に依り上海に残す	
一五〇〇復員式を施行し橋本大尉以下将校十五、下士官四三、兵一三二軍属一 計一九二名予備役輸入反日集を解除す	

(466)

0975

独立歩兵第五百十四大隊略歴

代理 駆軍少佐 本 谷 一

年 月 日

曉

要

昭二〇、三、二六 四、一 四、二〇 五、二二 八、一四 八、一八 八、二一 九、二 一〇、三六 一一、五、一六 六、一七 六、三八	軍令陸甲第一八号独立歩兵第五百十四大隊編成下令 編成業務着手 中華民國湖南省鄉縣編成完結 中華民國湖南省資興縣東江移駐 同地附近 停戰詔書發布 復員下令 復員のため東江出發 停戰協定締結 江西省都昌県都昌着同地駐留復員業務実施 中華民國江西省都昌県都昌出發 上海港出帆 佐世保上陸
--	---

(457)

0976

独立歩兵第五百十五大隊略歴

年	月	日	概	要
昭二〇、四、一			編成下令、同日編成業務着手	
四二〇			祁陽県祁陽編成完結	
四二〇			湘陽反蘆江市附近に於て湘西依戦に参加	
六一〇			參加時一死歿人員無し	
五二八			中華民国湖南省資興県蘆江市移駐	
八、八			蘆江市附近の戰斗参加	
一〇、三五			中華民国江西省都昌県都昌移駐	
一一、六一五			上海港公港	
六、八			佐世保港上陸	

(468)

0977

独立歩兵第五百十六大隊略歴

年 月 日	概 要
昭二〇、四、一	軍令陸甲第十八号在支部隊臨時編成（編成改正）第十三三二次復帰（復員）要領により編成下令同日編成業務着手
四二〇、四、三三	湖南省永陽県永陽に於て編成完結
六一〇、八、二五	中華民国湖南省永興県永興附近の战斗に参戦、戦死者下士官二名、兵六名、同日以降同地に在りて警備に従事
八二五、八、二五	湖南省永興県湘陰渡に移駐警備
八二五、八、二五	江西省都昌県都昌着同地駐留
二一五、一六、六一	内地帰還のため都昌県都昌出发
六一六、六二六	上海出发
六二六、六二六	佐世保港上陸

(469)

0978

独立歩兵才五百十七大隊略歴

年	月	日	概要
昭二〇	三	八	軍令監才十八号に依り独立歩兵才五百十七大隊編成下令
四	二	〇	中華民國湖南省衡陽県漢福に於て編成完結
五	一	四	オ一次桂陽作戦に参加
五	二	八	湖南省宜章県白石渡及小溪に移駐警備
八	一	五	湖南省宜章県小溪に於て停戦
一〇	三	五	江西省都昌県都昌に於て集中
一一	五	七	内地帰還の爲江西省都昌県都昌出港
六	一	一	上海到着
六	五	一	上海出帆
六	三	二	鹿児島上陸
六	三	二	復員式
七	一	〇	復員完結

(470)

0979

独立歩兵才五百十八大隊略歴

年 月 日	概 要
昭三〇、四、一	軍令陸軍才十八号在支部隊臨時編成 復員（復帰）要領に依り下令
四、三	中華民國湖南省郴県に於て編成業務に着手
四、二〇	中華民國湖南省郴県に於て編成完結
四、二	湘西作戦に參加此の間湖南省郴県附近の警備並討伐に従事す。
六、二	湖南省郴県附近の警備並討伐に従事す。
八、三五	中華民國江西省昌県鄱昌に移駐す
一一、六、一七	内地帰還の爲上海出帆
六、二八	佐世保上陸復員

(27)

0980

独立混成第八十七旅団砲兵隊略歴

年 月 日	概 要
昭二〇、三、一四	軍令陸甲才一八号独立混成第八十七旅団砲兵隊編成下令
三、一五	編成業務着手
四、二〇	湖南省耒陽編成完結
四、二一	中華民國湖南省柳県太陽附近に移駐同地附近の警備
五、三四	中華民國湖南省柳県良田附近に移駐同地附近の警備及才二中隊をして柳県橋口墟附近に移駐同地警備
八、一八	復員下令
八、二四	復員の爲警備地良田及橋口墟出發
九、二	停戦協定締結
一〇、三、二	江西省都昌県都昌署同地駐泊
一一、五、一六	復員の爲都昌出發
六、一七	内地帰還の爲上海港出帆
六、三三	鹿児島港上陸

独立混成第八十七旅团工兵隊

年	月	日	概要
昭二〇	四、二〇	軍令陸甲第三大号独立混成第八十七旅团工兵隊編成下令	
	三、二〇	編成業務着手	
	四、二〇	湖南省衡陽県長湖塘に於て編成完結	
四、二六		中華民国湖南省柳県駱仙鋪に到着爾後同地附近の警備及道路（柳県—高亭司町）	
		休業に従事	
五、三三		警備正面縮小のため〇〇・三〇桂陽公務新田嶺（桂陽地方八料を経て劉家地区に移駐、爾後同地附近にあり警備反旅団の料稼收集に任す）	
八、一四		湖南省柳県車站前に於て停戦の大命拜度	
二一、五、一六		都昌公務（内赴へ復員のため）	
五、一九		湖口に到着	
六、一六		湖口乘船	
		上海着	
		上海港公帆	
		復員完結	

(423)

0982

独立混成第八十七旅団通信隊略歴

年月日	要
昭二〇、四、一 二〇、四、一	軍令陸甲第十八号独立混成第八十七旅団通信隊編成下令 編成業務着手
四、二。	中華民國湖南省衡陽県衡陽に於て編成完結
四、三。	中華民國湖南省柳県県柳県に移駐
四、五。	湘県周辺の警備並に討伐
八、一、四	停戦詔書發布
八、一、八	復員下令
八、二、八	陸軍少尉永岡通之満州独立歩兵第四四八一大隊より転入
二、五、一、六 六、一、六	内地隔離のため江西省鄱昌県鄱昌出港 上海出帆
六、二、六	佐世保港上陸復員

(4-4)

0983

第ニ独立警備隊司令部略歴

年 月 日	概 要
昭二〇、六、一 四、九	軍令陸軍少將岡島重敏以下將校十四名下士官兵五一五名 編成業務着手
四、三〇 四、三一 五、一 五、七	長沙に於て編成完結 司令官陸軍少將岡島重敏以下將校十四名下士官兵五一五名 才二十軍司令官に隸屬し司令司令部を長沙に置き才七大隊沅江才八大隊寧鄉才九大隊金雞山才十大隊岳麓山才十一一大隊橋頭才十二大隊永安に各々大隊本部を置き該地周辺の警備れ才六十四師團より繼承す作業隊は司令部直轄として長沙に位置せしむ
五、八 五、元 六、一 六、三	湖南省長沙県銅官鄉市港に移駐し復員準備 復員の爲市港出发岳州に集結 船舶に依り岳州出发漢口を経て南京に至り同地より鐵道にて前進 上海に集結 上海出帆内地帰還の途につく 博多上陸復員式終了す

(475)

0984

独立警備歩兵第七大隊略歴

年 月 日	概 要
昭二〇、三、一〇	軍令陸軍第十八号に依り編成下令
三、一〇	編成業務着手
四、三〇	編成完結
四、三	大隊長陸軍大尉山口幸以下將校二四名下士官一二八名兵六〇八七名
四、三	同日より湖南省沅江県沅江附近の警備
七、一	本土兵備要員として大尉少尉以下二十五名派出
八、四	停戦詔書發布
八、八	復員下令
九、二	停戦協定締結
九、一	部隊集結のため湖南省沅江県沅江出發
三、五、六	湖南省長沙県市港集結
六、三、六	内地帰還のため市港出發
六、五	上海港上陸
六、三、六	佐世保にて復員式舉行

(476)

0985

独立警備歩兵大隊略歴

大隊長 陸軍大尉 井 上 哲 男  
大隊長 陸軍大尉 川 村 秀 雄

年月日

概

要

昭二〇・六・一		軍令陸甲第十八号独立警備歩兵大隊編成下今
三、天		中華民国廣西省全縣石門に於て編成業務に着手
三、八		編成地中華民国湖南省長沙縣長沙に集結の爲廣西省全縣石門を出發
四、一九		湖南省長沙に到着
四、三十		中華民国湖南省寧鄉に於て編成完結
自五、一	至六、三	湖南省寧鄉及朱良橋附近の警備
六、三	七、二〇	湖南省寧鄉双江口に移駐 同日より同地及び長沙県漁港附近の警備
八、一〇	八、一四	湖南省長沙縣長沙五里牌附近に集結 同日より同地附近の警備
八、一五	九、二	停戦詔書発布
九、一		復員下命
		停戦協定締結
		復員待機の爲湖南省長沙県銅官鎮市港附近に移駐

(470)

0986

年	月	日	
昭二 一 五	大	六 四 三	概
			内地帰還の爲前記市港出港
			上海港出発
			福岡県博多港上陸

(478)

0987

独立警備歩兵第九大隊略歴

大隊長 薩軍六尉 出 口 潤 一

年 月 日

概 要

昭二〇、三、一

四、三。

軍令陸甲第一八号に依り独立警備歩兵第九大隊編成下令  
湖南省湘陰県金鶏山に於て編成完結  
編成要員は第三十四師団歩兵第三百十八聯隊より編成す  
警備地湖南省湘陰県金鶏山

停戦詔書發布

復員下令

〇二〇〇撫力市出発同日二〇〇〇湖南省長沙県銅官鄉蓮花塘着復員待機

自二〇、一、  
至二、五、七

同地に於て復員待機

部隊主力上海港出帆

山口県大津郡仙崎港上陸

六、五

六、三

(479)

0988

独立警備歩兵第十大隊略歴

年 月 日	概 要
昭二〇、二 二〇、三、五	軍令陸甲第十八号独立警備歩兵第十大隊編成下令 編成業務着手
四三〇 自五、一 至九、二	中華民國湖南省長沙県長沙に於て編成窓結 中華民國湖南省長沙県岳麓山移駐
九、一〇 一〇、一 二一、五、六 五、三六 六、五	岳麓山附近の警備並に戦斗参加 停戦協定締結に依り湖南省長沙県岳麓山出港 湖南省長沙県銅官鄉黃龍山附近に移駐、同地に集結 復員のため湖南省長沙県銅官鄉黃龍山出发 上海出帆
召集	
佐世保港上陸同日上陸地に於て部隊長代理陸軍大尉徳岡町雄以下六六一名除隊	

(480)

0989

独立警備歩兵第十一一大隊略歴

大隊長 陸軍大尉 高 実 正 駿

年 月 日

概

要

昭二〇、二、一

四九

軍令陸甲第十八号独立警備歩兵第十一一大隊編成下令  
編成着手

中華民國湖南省長沙県洋橋に於て編成完結

四三〇

中華民國湖南省長沙附近の警備

四三〇

停戦認書発布

八、一四

復員下令

停戦協定締結

中華民國湖南省長沙県銅官鄉三仙廟に移駐 同地に集結待機

復員のため湖南省長沙県銅官鄉三仙廟出発

中華民國浙江省上海集結

中華民國浙江省上海出帆

福岡県福岡市博多上陸

五、一

五、七

五、八

六、一五

六、三

0990

独立營備歩兵第十二大隊略歴

大隊長　陸軍大尉　大久保　一正

年	月	日	概	要
昭二〇、三、一	三、二〇	三、二〇	軍令陸甲第十八号独立營備歩兵第一二隊編成下令 編成業務着手	
四、三〇	四、一	四、一	中華民国湖南省長沙に於て編成完結	

中華民国湖南省瀏陽縣永安市に遂次集結する兵力を以て移駐す

大橋市西北千米高地附近の戦斗

白沙塘附近の戦斗

洞陽市附近の掃蕩

停戦詔書發布

復員下令

停戦協定締結

帰還のため市港出発

上海寒犯

特別輸送船初航に依り上海出帆　大隊長代理陸軍大尉小西亮吉以下七七七名  
佐世保港上陸

(182)

0991

第二獨立警備作業隊略歴

年	月	日	概要
昭二〇、四、三〇			
			軍令陸甲才一八号才二独立警備作業隊編成完結
四、三〇			中華民國湖南省長沙県長沙駐留
五、一			中華民國湖南省長沙県長沙に在り交通作業に従事
八、一四			停戦詔書發布
八、一四			復員下令
九、二			停戦協定締結
二〇、一〇、一			中華民國湖南省長沙県市港に在りて復員待機
二六、五、五			才二独立警甲才一八号に據り陸軍督長羽柴錢造以下一八名内地帰還の爲中華民國
四、一六			湖南省長沙県市港出發（下士官二名、兵一大名）
五、六			内地帰還の爲中華民國湖南省長沙県市港出發
五、元			上海到着
六、二二			鹿児島海上陸
六、二三			複員式舉行

(483)

0992

独立山砲兵空聯隊略歴

部隊長 陸軍大尉 玉川長吉

年月日

概要

昭八、七、一〇

陸令甲オ三十六号により中華民国江蘇省浦鎮県浦口に於て編成を完結す

中華民國河北省石門市附近の警備に任す

引続き石門附近の警備に任す

中華民國湖北省咸寧県官埠橋附近の警備に任す

良塘鄉附近の宣撫工作並に警備に任す

数回の討伐を行ふ

中華民國江蘇省九江累葛家灣附近に於て復興業務

上海集結のため江乘船出發

部隊は聯隊長以下殘務整理者六十六名を残し上海出帆

鹿児島上陸

復務整理者御古大尉以下五十六名上海出帆

仙崎上陸

殘務整理者御古大尉以下六名二日市復員本部にて殘務整理

殘務整理完了帰郷

外

0993

高射砲第十二連隊略歴

年	月	日	概要
昭和二十二年七月			中北支に於て各役戦に参加せし左記諸隊を以て編成業務に着手する
			記
			近衛師団第一野戦高射砲隊（甲編成）
			第一三師団二十五、二十六、二十七野戦高射砲隊（乙編成）
			第一五師団第一野戦高射砲隊 （乙編成）
			近衛師団第一四、五野戦高射砲隊 （乙編成）
			宣昌作戦參加
			第一次長沙作戦參加（岳州）
			武漢防空（漢口）
			湘桂作戦參加
			停戦命令
			上海到着
			上海出帆
			浦賀沖到着
			浦賀上陸

(485)

0994